

まちづくりミーティング



開催テーマ

地元・桐生での消費喚起策の推進

参加者

桐生商店連盟協同組合 9名

桐生市長

傍聴者 5名

報道機関 3名

日時：令和5年2月6日（月）18時～19時

場所：桐生市保健福祉会館503会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

地元・桐生での消費喚起策の推進

意見交換のポイント

- 100円商店街in桐生（桐生版スモールビジネスサタデー）を通じて感じたこと
- ポストコロナに向け、商店街活性化のために桐生市と共創したいこと 等

4 閉会

物価高に負けない！ 皆様に笑顔を！！

なんでも100円！

100円

100円もって
商店街へGO!!



商店街

in 桐生

※十分な商品をお揃えしますが数に限りがあり、品切れが予想されますので、お早目のお越しをお待ちしております。
※お支払いは現金のみでお願い致します。

2022年 11月5日(土)

10時～17時 開催

会場：錦町～本町三丁目
及び末広町の商店街各店

本町六丁目商店街LIVEイベント

- 10:30 船太郎 白楽
- 11:00 お笑いLIVE
奥原キャラメルランランズ
塩幸ちゃん
- 11:30 群犬ジャズ研
- 13:00 船太郎 白楽
- 13:30 お笑いLIVE
奥原キャラメルランランズ
塩幸ちゃん
- 14:00 群犬ジャズ研

会場：浄運寺山門前

末広町商店街イベント

- きりゆう・まちの先生見本市ミニ
11:00～15:00
おむすびの会
MEGAドン・キホーテ
桐生店 1階

本町三丁目商店街イベント

- 野菜販売 11時～
トボス

桐生版スモールビジネスサタデー

主催：桐生商店連盟協同組合 【お問い合わせ】 0277-45-1201

「100円商店街 in 桐生」 桐生版スモールビジネスサタデーについて



理事長説明

令和3年7月に参加した「まちづくりミーティング」において、市長から「スモールビジネスサタデー」の話を伺って以降、商店街の消費喚起策としてのイベントを実施したいと考えた。コロナ禍において、集客も経済も厳しい中であつたが、桐生商店連盟協同組合(以下「商店連」という。)の会議等で様々な意見交換を行い、「100円商店街 in 桐生」を実施することに至つた。

お客さんが来てくれるか不安であつたが、たくさんのお客さんが集まり、100円商品は30分ほどで売り切れてしまった。今般の取組は商店街で買い物しようという意識を持ったお客さんを集めた初めての試みであつたが、経済的なにぎわいをつくる事ができたと思う。

イベント後に実施したアンケートでは、「何が決め手で100円商店街 in 桐生に参加しましたか。」の設問に対し、「商店街を盛り上げるため」の回答がもっとも多く、嬉しく思つた。

「100円商店街 in 桐生」に参加し、良かったこと」の設問では、「商店街がにぎわいお客様に喜んでいただけた」の回答がもっとも多く、次いで「店舗を認知していただけたこと」の回答が多かつたので、取組主旨が反映されておりました。大きな目的を達成できたのではないかと考える。

「100円商品以外の商品(サブビス)は売れましたか。」の設問では、「売れた」の回答がもっとも多く、「次回開催が決定したら参加しますか。」の設問では、ほとんどの回答が「参加する」であり、商店連とするとありがたい回答であつた。

このほか、イベントに関する様々な意見が寄せられているので、反省点の改善策を検討し、このイベントを柱に継続して取り組むことで、より良いものにしていきたい。

(市長)
みなさまのご尽力により、
「100円商店街 in 桐生」に
次回も参加したいという意見も
多かったのではないかとと思う。
また、お客様に喜んでいただけ
たことや店舗の認知につなげる
ことができたとの意見も多く、
このイベントの目的を達成でき
ているのではないかと思う。こ
うした取組を契機に、再来店や
売り上げの向上につなげてほし
い。

まず最初に、各商店街組合の
意見・感想をお願いしたい。

(本町三丁目商店街振興組合)
個店の商品を売ることを重要
視し、仕入れに対する補助を
行った。個店の将来を見据え、
自店の商品を売り、にぎわいの
中で認知をしてもらい、顧客と
のつながりができ、良かったと
思う。

個店が生き残るためには、プ
ロ意識を持ち、自信を持つて売
ることや商品説明ができること
で、まだまだ伸びる要素はある
のではないかと考えている。

(市長)
このイベントが個店の商品を
売するためのきっかけづくりに
なることが重要であると思う。そ
のための個店独自の取組をまた
検討してほしい。

(中央商店街振興組合)
集客を図れるよう、魅力ある
商品を統一して取り扱うことと
し、新里産コシヒカリを1キロ
100円で販売した。集客は
良かったが、補助金により商品
を取り扱ったため、自力で10
0円商品を用意することは難し
いと感じた。

専門店としてのサービスや商
品力などの付加価値を付け、押
し出す必要があると感じた。

(市長)
付加価値は一つの大きなポイ
ントになると思う。



各商店街の意見

(本町六丁目商店街振興組合)

花と野菜を仕入れ、各個店に配り販売した。

お客様が100円商品を購入して、すぐに帰ってしまわないよう、また、本町六丁目の立地を踏まえ、音を出そうと考え、浄運寺前で和太鼓の演奏やお笑いライブ、群馬大学の学生によるジャズ演奏を実施した。

桐ペイのブースがあったこともあり、来場者に楽しんでもらえたと思う。

初めてのイベントということで、手探りの仕入れとなったため、お花と野菜はすぐに売り切れてしまった。

コロナ禍でイベントが中々できずにいたが、イベントを待っていたと声を聞き、売る側にも買う側にも笑顔が見られ、大成功であったのではないかと考えている。また来年、再来年へとつなげたい。

(市長)

様々な企画をしてもらい、御礼申し上げます。

桐ペイの話が出たが、このイベントを桐ペイポイントの付与で、応援させてもらった。

今後も引き続き、桐ペイを活用した地域振興策を考えているので、そのことも視野に入れて今後の展望を検討してほしい。

(末広町商店街振興組合)

末広町商店街はテナントが多い特徴があり、これまでイベントへの参加店舗が少なかったが、参加を呼び掛けたところ、かなりの数に参加してもらえた。若い人向けの店舗に年配の人が入っていると見受けられ、にぎわいや人の流れがあったので、商店街にテナントがあることのメリットを感じてもらえたのではないかと考える。桐ペイも大変良かった。桐ペイとこうしたイベントを絡めて実施していく効果的であると感じた。

(市長)

店舗に入ってもらえるよう、取り組むことは重要であると思う。



各商店街の意見

(市長)
ここからは、今般の「100円商店街in桐生」のほか、今後実施したい取組案など、自由意見をお願いしたい。

(意見)
100円で何ができるかを考え、初めての試みなので、普通に仕入れた商品を利益を入れずに販売することとした。客数が読めず、仕入れが少なかつたため、あっとい間に売り切れてしまった。
お客さんが興味をもって、楽しみながら店舗を探し、商店街を巡ってくれたと感じ、イベントは成功だったと思う。

今度は街中で何をやるんだろうという期待をもたせることができたと思う。

(市長)
各商店街の創意工夫を凝らした商品を提供し、客が探す、商店街を巡り歩いてもらうことは今般の取組の大きな主旨であったと思う。

(意見)
コロナ禍で最近できていないが、子供向けの八口ウインイベントを実施していた。経済効果はないが子供も大人も笑顔になる未来につながるイベントであった。その大人版として「100円商店街in桐生」は実施できたのではないかと思う。
今後については、例えば年2回やるならば、子供向けと大人向けをそれぞれ実施したい。あるいは、既存の八口ウインイベントなどと一緒に実施すると良いのではないかと考える。

(意見)
子どもや親子で来るお客さんのために、食事ができる場所やお菓子を用意できるように考えたい。

(意見)
イベントのチラシを改めて見ると、10時から17時の開催とあるが、目玉商品はあっとい間に売れてしまったので、反省点であると思う。
商店街に長い時間滞在してもらう取組について、例えばもりもりマルシェと連携するなど、検討していきたい。

(市長)
子供向けイベントや滞在時間を増やす、先程の商品の付加価値など、重要なキーワードであると思う。



商店街活性化のために桐生市と共創したいこと
～ 子供向けイベント・滞在時間を増やす取組 ～

(意見)

ワンコイン商店街ということで、100円や500円の商品を用意したいと考えている。参加店舗の商品を割引きで購入できる券を100円で販売するのも面白いのではないかと考えている。

各店舗で商品や売り方は考えることになるが、商品の販売とお客様の笑顔につなげられる取組にしていきたい。

また、近隣の商店街でまちゼミという取組が行われている。桐生市でも個店の魅力などを伝えられる取組を考えたい。

このほか、学生や観光客にも喜ばれる取組として、フリーマーケットを設置したいと考えている。

(市長)

各個店や商店街の魅力発信については、群馬大学の学生がSNSを活用した取組を実施しているので、連携すると面白いと思う。

群馬大学側からも地域と学生の交流の場を設けたいと伺っているので、皆さんの取組と一緒に進める機会も検討してほしい。

(意見)

にぎわいはまちの力になると感じている。

各商店街で実施してきたハロウィンイベントやクリスマスマーケット、GIF FIVEロードなどを一体的なイベントとして実施すると面白いのではないかと考えている。

飲食については、お昼ご飯の買い物を楽しみに来るお客さんも多いので、歩行者天国にして、キッチンカーを呼ぶことや、浄運寺前や群馬銀行の駐車場等で、フリーパフォーマンスができる場を設けるなど、まちなかに滞在してもらえる取組も併せて行うなど、各商店街が一緒になって実施する試みができると良いと考えている。

(意見)

以前から商店街のイベントを連携して実施しようという話はあったが、コロナもあり、中々実現に結び付いていなかった。コロナが落ち着いた後には、新しい取組で商店街を盛り上げたい。

そうしたところでは、コロナバス通りを封鎖して、和太鼓のチームを集めた演奏会と、新川駐車場でキッチンカーを用意し、滞在時間を延ばすイベントをしたいと考えている。他の商店街でも同日開催でイベントができれば連携していきたい。

(市長)

統一したイベントではなく、それぞれの商店街でやってきたことを実施する。各商店街や店舗で何をやっているのか、お客さんに巡ってもらうことにつながり、良い意味での競争も生まれて良いと思う。また、滞在時間を増やす取組の一つの案として、良いと思う。



商店街活性化のために桐生市と共創したいこと
～ 各商店街の連携 ～

(意見)
桐ペイの活用について、商連のイベントの経費に桐ペイが使えないか、まちゼミの参加者に桐ペイをプレゼントできないかなど、連携した取組ができるか良いと考えている。

(意見)
「1000円商店街in桐生」の桐ペイポイントの付与により、買い物に戻ってきたお客さんもいたので、桐ペイの活用については、市外の人に1日限定で付与することや、何人かに一人付与といったやり方など、お客さん呼び込める企画をすることで、地域消費につながるのではないかと思う。

(意見)
桐ペイの導入について、商店街では店主が高齢化していることもあり、当初は導入が進まなかった。また、SNSなどの活用についても、難しいところもあるので、配慮してほしい。

(市長)
桐ペイの活用も含め、デジタル化に伴う対応について、令和5年度に対策を講じてまいりたいと考えている。

本日の意見について、次回に向けた大きなヒントがたくさんあったと思う。市の方でも持ち帰って検討するが、商連のほうでも具体的な検討・合意形成を図ってもらい、共に相談しながら、さらに一歩進めてまいりたいと考えているので、引き続きよろしくお願いいたします。



商店街活性化のために桐生市と共創したいこと
～ 桐ペイの活用 ～